## 休日急病診療委員会　鈴木　秀和

　平成 28 年度は、５月 16 日（月）、９月 12 日（月）、１月 16 日（月）の合計３回委員会を開催し、以下の事項を協議いたしました。

（１）年間、すべての日曜日、祝日に開設される休日急病診療（豊中市医療保健センター及び豊中市立庄内保健センター）に出務される会員諸先生方の輪番表を、委員会で承認のうえ、医療保健センターに推薦いたしました。なお出務される日の公平を期するため、豊中市医療保健センター担当責任者に輪番素案を作成していただきました。

（２）年末年始（12 月 29 日～１月３日）、ゴールデンウィーク期間、及び盆期間については、それぞれ月報で出務医師を医師会員より募集し、医療保健センターに推薦いたしました。会員の先生方の御協力をもって、本年度も欠員なく、休日急病診療をおこなうことができました。

（３）平成 28 年 12 月より、平成 29 年２月にかけてインフルエンザ様疾患の流行があり、年末年始の休日診療は、前年に比して多数の方が来院されました。１月に入っても患者数が多く医療保健センター担当者と協議のうえ、１月 15 日より２月 19 日の毎日曜日、豊中市医療保健センター出務医師を２名　→　３名へと急拠増員し対応いたしました。出務いただいた先生方には、厚くお礼申し上げます。

（４）診療日誌記載の出務医師よりの意見、要望について、また、備蓄薬剤の変更や追加、診療上問題となる事項を精査し、その改善策を委員会にて検討いたしました。

（５）11 月に厚生労働省よりの通達で、新生児及び乳幼児に対してのオセルタミビルリン酸（タミフルドライシロップ３％）の保険適用が認められたとのことでありますが、協議のうえ医療保健センターとしては処方について慎重に対応することといたしました。

（６）年末年始、盆期間、ゴールデンウィーク期間の前後の日曜祝日については、月報において公募する特定期間と同様の取り扱いをすることとし、豊中市規定外の日程ということで、医師会に補助をお願いいたしました。

（７）休日診療上の問題（患者さんとのトラブル）は、ここ 10 年間以上ありません。医師会の先生方の御協力あってのことであり、また薬剤師会、歯科医師会の先生方にも感謝いたします。

　　平成 28 年度

　　　　豊中市医療保健センター

　　　　　診療日数　　　　　　 　73 日

　　　　　出務医師数　延　　 　162 名

　　　　　患者数　　　　　　　3,160 名

　　　　　　　　内　科　　　　1,836 名

　　　　　　　　小児科　　　　1,324 名

　　　　豊中市立庄内保健センター

　　　　　診療日数　　　　　　 　73 日

　　　　　出務医師数　延　　 　147 名

　　　　　患者数　　　　　　　1,677 名

　　　　　　　　内　科　　　 　769 名

　　　　　　　　小児科　　　 　908 名